

評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市	計画の名称	下水道整備による快適で安らぎに満ちた仙台市のまちづくり(防災・安全)
交付期間	平成26年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年4月	交付対象事業費	23,959百万円

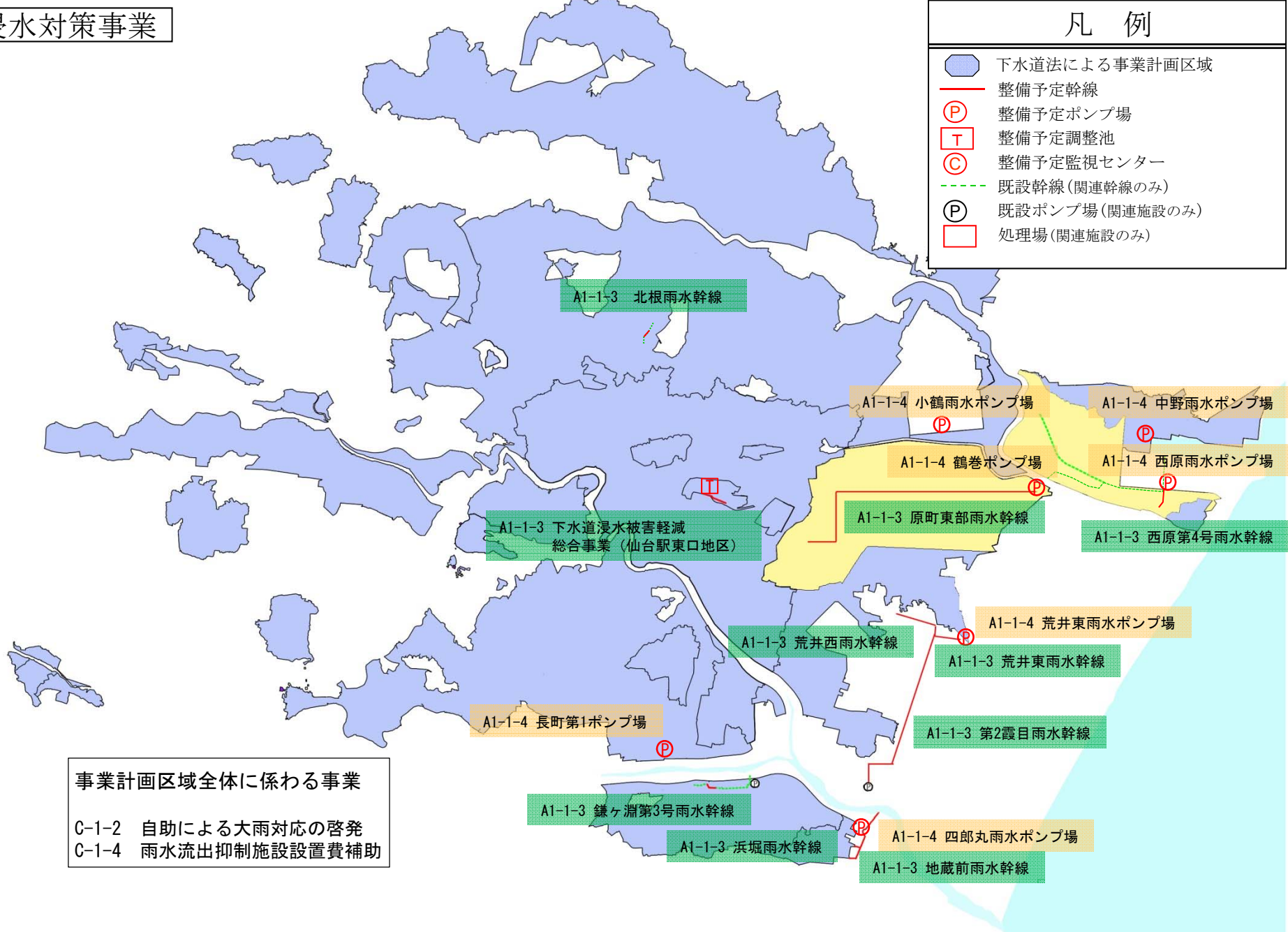
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業の目標	計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
	計画の成果目標	計画の成果目標	①浸水被害を軽減するため、10年確率降雨に対応する雨水対策整備率を31.4%(H26当初)から31.5%(H27末)に向上する。 ②宮城県沖地震など大規模地震の発生に備え、重要な幹線等の地震対策実施率を34.4%(H26当初)から34.5%(H27末)に向上する。 ③管路の老朽化による道路陥没や下水道機能の停止等を未然に防ぐため、老朽管路の改築実施率を14.1%(H26当初)から15.2%(H27末)に向上する。									
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の定義及び算定式	定義	算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考	
							当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)			
			①	10年確率降雨に対応する雨水対策整備率	10年確率降雨に対応する雨水対策整備済み面積(ha)÷10年確率降雨に対応する雨水対策整備計画面積(ha)				31.4%	-		31.5%
	②	重要な幹線等の地震対策実施率	地震対策実施済み重要な幹線等延長(km)÷地震対策上重要な幹線等延長(km)				34.4%	-	34.5%			
③	老朽管路の改築実施率	改築済みの老朽管路の延長(km)÷老朽管路の総延長(km)				14.1%	-	15.2%				
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C)	23,959	A	23,952	B	-	C	7	効果促進事業費の割合	C/(A+B+C)	0.03%	
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更	-											
2)交付対象事業	A1下水道事業	番号	事業及び施設種別	工種	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)		事業費(百万円)	備考		
						H26	H27					
	浸水対策事業	A1-1-3	雨水	新設	雨水幹線等整備事業	雨水幹線:原町東部,第2霞目,荒井東,荒井西,西原4号,榴岡,北根,鎌ヶ淵第3 調整池付帯施設:榴岡第2調整池			2,685			
		A1-1-4	雨水	新設	雨水ポンプ場整備事業	小鶴雨水ポンプ場:Q=1,512.60m ³ /min 四郎丸雨水ポンプ場:Q=723.00m ³ /min 西原雨水ポンプ場:Q=1,128.00m ³ /min 中野雨水ポンプ場:Q=396.00m ³ /min 鶴巻ポンプ場:Q=1,680.00m ³ /min 荒井東ポンプ場:Q=432.00m ³ /min 長町第1ポンプ場:Q=1,206m ³ /min			3,802			
	地震対策事業	A1-1-5	合流	改築	管路施設の耐震対策事業	L=14.7km			2,261			
		A1-1-6	汚水	新設	汚水幹線のループ化事業	第3南蒲生幹線:L=9.2km			5,554			
		A1-1-16	処理場	改築	浄化センターの耐震対策事業(水処理)	上谷刈浄化センター:耐震対策1式			80			
		A1-1-17	全種	改築	下水道ポンプ場の耐震対策事業	郡山ポンプ場外8箇所			1,522			
	改築更新事業	A1-1-7	処理場	改築	浄化センターの改築事業(水処理)	南蒲生,広瀬川,上谷刈,秋保温泉,定義:設備更新等5箇所			3,829			
		A1-1-8	処理場	改築	浄化センターの改築事業(汚泥処理)	南蒲生:焼却炉更新等1箇所			2,177			
		A1-1-9	監視セ	改築	監視センターの改築事業	六丁目監視センター外			250			
		A1-1-10	合流	改築	合流ポンプ場の改築事業	米ヶ袋,五ツ谷,郡山:設備更新等3箇所			188			
		A1-1-11	汚水	改築	汚水ポンプ場の改築事業	霞目,霊屋,無串,みやぎ中山,吉成,国見第1,国見第2,秋保中継第1,人來田西,赤坂,飯田団地,茂庭住宅団地,岡田,鶴巻,人來田,六丁目:設備更新等16箇所			136			
		A1-1-12	雨水	改築	雨水ポンプ場の改築事業	落合,鶴巻,今泉,新田東,中野,苦竹:設備更新等6箇所			641			
	老朽化対策事業	A1-1-15	汚水・合流	改築	管きょTVカメラ調査	L=30.0km			84			
		A1-1-18	合流	改築	老朽管路の改築事業	L=4.2km			743			

	C 効果促進事業	番号	事業及び施設種別	工種	事業名	事業内容	事業実施期間(年度)		事業費(百万円)	備考
							H26	H27		
2) 交付対象事業	浸水対策事業	C-1-2	雨水	新設	自助による大雨対応の啓発	大雨に対する市民の自主的対策の周知・啓発			4	
		C-1-4	雨水	新設	雨水流出抑制施設設置費補助	雨水流出抑制施設設置費補助			3	
	番号	一体的に実施することにより期待される効果								
	C-1-2	下水道フェア、パンフレット、ハザードマップ等を通じ、未整備地区や浸水危険性のある地区等において、浸水に対する自主対応力を高めることにより、雨水整備が進むまでの間、浸水被害を軽減することができる。								
	C-1-4	自助による雨水流出抑制施設設置を補助することにより、市民も参加して安全・安心、快適な暮らしを実現できる。								
3) 交付対象事業の評価	評価項目		評価							
	I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 雨水事業の進捗により、浸水安全度が向上した。 合流区域の重要な幹線等の耐震化を進めた結果、汚水処理機能の維持・向上を図ることができた。 							
	II 定量的指標の達成状況	指標①: 10年確率降雨に対応する雨水対策整備率	最終目標値	31.5%	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理や開発が進んがことにより、10年確率降雨に対応した雨水排水施設の面整備が進んだため。				
			最終実績値	34.0%						
		指標②: 重要な幹線等の地震対策実施率	最終目標値	34.5%	目標値と実績値に差が出た要因					
			最終実績値	34.7%						
指標③: 老朽管路の改築実施率		最終目標値	15.2%	目標値と実績値に差が出た要因	労務及び資材単価の高騰に伴う事業費の増加により、当初予定していた延長が整備できなかったため。					
		最終実績値	14.7%							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)										
4) 特記事項(今後の方針等)	<p>浸水対策事業において、本計画に引き続き原町東部地区、霞目地区について、重点的な対策を行うことに加え、四郎丸地区の浸水対策について本格着手し、被害軽減に努める。</p> <p>耐震対策においては、管路、ポンプ場、処理場等、施設のリスク評価による優先度を考慮しながら、順次、耐震対策を進めるとともに、第3蒲生幹線による汚水幹線のループ化を図ることで、大地震による下水道施設の機能停止を未然に防ぐ。</p>									
5) 第三者からの意見徴収	<p>意見なし。</p> <p>(平成28年4月11日から4月22日までの間、仙台市ホームページにて評価のまとめ(案)の意見を求めた。)</p>									

計画の名称	下水道整備による快適で安らぎに満ちた仙台市のまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成26年度～平成27年度 (2年間)	交付対象	仙台市

浸水対策事業

凡 例	
	下水道法による事業計画区域
	整備予定幹線
	整備予定ポンプ場
	整備予定調整池
	整備予定監視センター
	既設幹線 (関連幹線のみ)
	既設ポンプ場 (関連施設のみ)
	処理場 (関連施設のみ)










事業計画区域全体に係わる事業

C-1-2 自助による大雨対応の啓発
 C-1-4 雨水流出抑制施設設置費補助

計画の名称	下水道整備による快適で安らぎに満ちた仙台市のまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成26年度～平成27年度 (2年間)	交付対象	仙台市

地震対策・改築更新・老朽化対策事業

凡例

-  下水道法による事業計画区域
-  整備予定幹線
-  整備予定ポンプ場
-  整備予定監視センター
-  既設幹線(関連幹線のみ)
-  既設ポンプ場(関連施設のみ)
-  処理場(関連施設のみ)

